



2023年11月11日  
第61号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



11月10日 申7号第3回交渉報告会 11月11日 全支部・全職場代表者会議

## 申7号 2023年度年末手当に関する申し入れ 職場実態と乖離した会社回答に怒り！怒り！怒り！

11月10日、申7号「2023年度年末手当に関する申し入れ」の第3回団体交渉が行われ、横浜地本は10日に「申7号第3回交渉報告会」、11日に「全支部・全職場代表者会議」をそれぞれ開催しました。

参加者からは、会社回答に対し「少なすぎる」「声にならない」などの怒りと落胆の声が多く出されました。

### 会議で出された主な意見



- 少なすぎる。声にならない。バカにしている！怒りを乗り越えて呆れる！
- 物価上昇に賃金が追いついていない。小遣いも減らされる。
- これだけ頑張っているのに、2.65ヶ月+5万円なの？
- この回答は現場のことを何も見ていない！年間で5.15ヶ月だ。成績率(+15%)で年間6ヶ月になるようにしているのでは？
- これだけお客さまの利用が増えているのに、いったいどうなったら3ヶ月に戻るのか？
- 職場では月100件以上の休日出勤が発生している。ほぼ全員が月2回の休日出勤。とにかく現場は要員不足だ！
- 交番が埋まらず、欠員で勤務発表されている。これで本当に安全が保たれるのか！
- 「活躍フィールドを広げる」と言うが、フィールドだけが広がって人がいないため疲弊している。モチベーションなど上がらない！
- 第2回交渉で言われている東日本大震災時(2.78ヶ月)より低い！
- 会社は東日本大震災の2011年と比べているが、あの時の5万円の商品券は嬉しかったが、今回の+5万円は全然足りない！
- これでは会社を辞める人が増える。
- この回答に怒りをもって、組織拡大を実現しなければならない！
- 社友会はこの数字を容認するのか。社友会の掲示が掲出されないのは、現場感覚とズれるので低い数字を書けないからでは？

中央本部緊急アンケート実施→→→

過去最高の働き度に賃金が追いついていますか？

皆さんの声もお聞かせください！

